

肝付町の 教育・文化・スポーツの

今

教育長
コラム
Vol.19

今回のテーマ 伝統行事

教育委員会の事務所がある文化センターでは、毎年、職員が門松を入口に、ふるさと工芸同好会（波野地区公民館）の皆さんが作ったしめ縄を玄関に飾り、お正月を迎える準備を行っています。

私が生まれ育った関西地方では松の内が1月15日（小正月）までであったことから、「おねっこ」や「ドヤドヤサー」などと呼ばれる「鬼火たき」が肝付町では正月7日に行われていることに就任当初びっくりしたことを思い出します。

私の子どもの頃（和歌山県高野山）は「どんど焼き」と呼んでいたように記憶していますが、鹿児島県（ホームページ）によると、大やぐらを焼いて、正月飾りについてきた悪霊を追い払う「鬼火たき」は鹿児島の伝統行事だそうです。子ども会や保存会などのお力添えにより、伝統行事の保存・継承が行われている様子を垣間見る年末・年始でした。



◀ふるさと工芸同好会の皆さん



◀おねっこ（論地）



◀ドヤドヤサー

<教育長レポート>

おおすみ半島スマートエネルギー株式会社（代表取締役：村上博紀氏）*から町内の全ての小・中・義務教育学校（10校）に対して環境に関する図書の寄贈の申し出があり、高山中学校の生徒とともに謹んでお受け取りしました。

この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

※おおすみ半島スマートエネルギー株式会社は、肝付町前田において、豊かな自然を活用した再生可能エネルギーの地産地消に取り組んでおられます。



昨年11月の「第37回うちのうら銀河マラソン」開催にあたり、石倉禮一郎氏（南方在住）から寄附の申し出があり、ご本人のご意向を踏まえ、内之浦地区の子供たちの参加費に充てさせていただきました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

